

総合計画とは

これからの岡崎市がどんなまちを目指してどのようにまちづくりを進めて行くのか、その方向性をさまざまな人と共有し、ともにまちづくりを進めていくためのものです。令和3年（2021年）からスタートした第7次岡崎市総合計画は、「一步先の暮らしで三河を拓く 中枢・中核都市おがざき」を30年後の将来都市像とし、その実現を目指しています。

計画の期間と構成

- 総合政策指針：2050年を見据えた、長期的なまちづくりの方向性を定めた10年間の政策指針
- 未来投資計画：将来都市像を実現するための10年間の推進事業パッケージ（中間年で見直し）
- 個別計画：分野別指針を踏まえた個別分野の計画

計画策定の主な背景～30年後の未来に向けて～

今後、本市は人口減少局面を迎え、生産年齢人口の減少や少子高齢化が一層進むと予測されています。これにより、地域コミュニティの活力低下や市内経済の停滞、市民サービスの維持が課題となります。さらに、激甚化する自然災害への対応や都市インフラの老朽化対策も喫緊の課題です。

一方で、AI・デジタル技術の進化は、新たな価値創造や社会課題解決の可能性を広げています。また、人々のライフスタイルや価値観が多様化し、幸福や暮らしの豊かさが重視される時代となっています。加えて、リニア中央新幹線開業によるスーパー・メガリージョン形成が、広域的な経済圏の拡大をもたらすと期待されます。

これらの見通しと、岡崎市の歴史や将来推計人口などの地域特性を踏まえ、30年後の将来都市像を構想します。



まち・環境

- 都市インフラ
- 防災・強靱化
- 環境・農山村

持続可能な集約連携型都市

参考指標

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|------------|------------------------------|------------------------------|
| 市内着工建築物工事費 | 2024年度 927億円 | 2021年度～2030年度平均 850億円 |
| 交通利便性の高いまち | 2024年度 平均肯定度5.1 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.0 (11段階) |
| 市内主要駅の乗客数 | 2023年 1,404万人 | 2030年 1,404万人 |
| 防災関連の取組満足度 | 2024年度 平均肯定度5.5 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.0 (11段階) |

ひと・社会

- 地域社会
- 保健・医療・福祉
- 子育て・男女共同参画
- 教育・文化

誰もが役割を持てる地域共生社会

参考指標

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|-----------|------------------------------|------------------------------|
| 社会増減 | 2024年 138人転出超過 | 2021年～2030年平均 250人転入超過 |
| 住みやすいまち | 2024年度 平均肯定度5.7 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.5 (11段階) |
| 合計特殊出生率 | 2023年 1.33 | 2021年～2030年平均 1.70 |
| 子育てしやすいまち | 2024年度 平均肯定度5.2 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.5 (11段階) |
| 待機児童数 | 2025年 16人 | 2030年 0人 |

しごと・経済

- 商業・観光
- 工業

付加価値創出型の「稼ぐ」地域経済

参考指標

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|-----------|------------------------------|------------------------------|
| 製造品出荷額等 | 2020年 1兆8,297億円 | 2030年までに 3.5兆円水準 |
| 小売業商品販売額 | 2021年 3,882億円 | 2030年までに 4,500億円水準 |
| 商工業が盛んなまち | 2024年度 平均肯定度5.3 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.5 (11段階) |
| 観光施設入込客数 | 2024年 345万人 | 2030年 425万人 |

行政・パートナーシップ

- 行政・パートナーシップ

都市経営のスマート化

参考指標

| 指標 | 現況値 | 目標値 |
|--------------------|------------------------------|------------------------------|
| プラットフォーム活用で解決した課題数 | 2023年度 1件 | 年平均 3件 |
| 市政総合満足度 | 2024年度 平均肯定度5.2 (11段階) | 2030年度 平均肯定度6.5 (11段階) |

未来投資パッケージの概要 分野別の主な取組を踏まえて将来都市像の実現に資する推進事業をパッケージとしてまとめたもの

未来のまちパッケージ

パッケージの方向性

社会や時代の変化に適応しながら、暮らしに新しい変化と魅力をもたらす続けるまちづくりを進めます。
同時に、交通課題や災害リスクなどの社会課題に対応し、持続可能な都市として発展し続ける力強い基盤を作ります。

パッケージ概要

| パッケージの主な柱 | 主な推進事業 |
|------------------|--|
| 暮らしに変化と魅力をもたらすまち | <ul style="list-style-type: none"> ●東岡崎駅周辺地区整備 ●岡崎駅周辺地区整備 ●本宿駅周辺地区整備 ●QURUWA戦略推進(中心市街地活性化) |
| 暮らしと経済活動を支える交通環境 | <ul style="list-style-type: none"> ●共助交通の推進 ●バス路線の維持向上 ●鉄道バリアフリー化推進 ●道路ネットワーク整備 |
| 災害リスクが低減された強靱なまち | <ul style="list-style-type: none"> ●総合雨水対策推進 ●多様な主体と連携した防災対策 |

未来のひとパッケージ

パッケージの方向性

あらゆる世代・多様な市民の一人ひとりが、希望するライフスタイルを選択でき、豊かなつながりの中で自分らしく活躍できる市民生活の実現を目指します。
また、これまでの歴史の中で受け継いだ様々な価値と、新たに生み出す価値を、未来に継承する取組を行います。

パッケージ概要

| パッケージの主な柱 | 主な推進事業 |
|-------------------|---|
| 多様な活躍を支える基盤づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●地域社会DX ●岩津地域活動拠点整備 ●スマートウェルネスシティ推進 ●働きたい・働き続けたい女性の活躍推進 ●外国人材活躍推進 |
| 未来を創るこどもを育むまち | <ul style="list-style-type: none"> ●南公園整備 ●新しい時代の学びの推進 ●こども・子育て世代の支援 |
| まちの魅力やブランド力の向上と継承 | <ul style="list-style-type: none"> ●歴史まちづくり ●さくらの名所づくり推進 ●岡崎城の復興継承 |

未来のしごとパッケージ

パッケージの方向性

人や企業が集まり、つながり、新しい価値やイノベーションを生み出すまちを目指します。
同時に社会課題解決や市内の産業発展を強力に後押しします。

パッケージ概要

| パッケージの主な柱 | 主な推進事業 |
|----------------------|---|
| 社会課題解決と連携した経済成長 | <ul style="list-style-type: none"> ●ゼロカーボンシティ推進 ●中山間地域活性化 ●食と農の生産・交流・PR拠点エリア推進 |
| 観光とビジネスの融和 | <ul style="list-style-type: none"> ●QURUWA地区ホテル誘致 ●観光おもてなし推進 ●スポーツツーリズム推進 |
| イノベーションを創発する産業・人材の集積 | <ul style="list-style-type: none"> ●阿知和地区工業団地関連整備 ●産業立地誘導地区開発推進 ●イノベーション創出支援 |

未来のパートナーシップパッケージ

パッケージの方向性

複雑化・多様化する社会課題に限られた行政資源で対応するために、効率的かつ効果的な行財政運営を行います。
また、社会課題に対応しながら魅力ある地域づくりを進めるため、あらゆる行政分野で民間の持つアイデアと力を発揮し、質の高い行政サービスの提供や地域活性化を推進します。

パッケージ概要

| パッケージの主な柱 | 主な推進事業 |
|-----------|--|
| 民間事業者連携推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●公民連携した社会課題解決の推進 ●シティプロモーションの推進 |

